

大学院獣医生命科学研究科

令和 7(2025)年度 第 2 次入学試験

獣医学専攻 博士課程

専 門 科 目

獣 医 内 科 学

「解答例」

・肥大型心筋症 (HCM)

特に左室壁が肥厚し、心室が十分に拡張できなくなるタイプである。

猫で最も一般的なタイプであり、うっ血性心不全を引き起こすことがある。

・拡張型心筋症 (DCM)

心筋が拡張することで収縮機能が低下するタイプである。

猫では稀な病型である。

・拘束型心筋症 (RCM)

心筋が硬く柔軟性を失うことで心室が拡張しにくくなるタイプである。

HCM とは異なり、心筋の厚みが増さない場合もある。

・不整脈源性右室心筋症 (ARVC)

右室の拡大とともに心臓のリズムが乱れるタイプである。

猫では比較的稀であるが、突然死を引き起こす可能性がある。

・非特異的表現型

上記のいずれの分類にも当てはまらない心筋症を指す。